

『小児膀胱尿管逆流(VUR)診療手引き 2016』英文版の完成と International Journal of Urology 誌掲載のご報告

この度、宮北英司先生ら本学会会員諸氏の尽力で、『小児膀胱尿管逆流(VUR)診療手引き 2016』の英文版が日本泌尿器科学会およびアジア泌尿器科学会のオフィシャルジャーナル“International Journal of Urology”誌 にアクセプトされ掲載の運びとなりました。ここにご支援、ご協力頂いた会員諸氏に厚く御礼を申し上げるとともに御報告いたします。

本手引きは、尿路感染症という小児の日常的疾患の重要な原因である膀胱尿管逆流(VUR)の診療指針について、健康保険の適応の有無など、わが国の現状を考慮しながら、診断、治療、管理の方針に関する最新の知見を簡潔かつ明快に示しています。

これまで同種のガイドラインとして 2011 年に米國小児科学会 (AAP) の発表したガイドラインを参考にすることが多かったと思いますが、保険診療の違いなどからわが国の臨床の現場では適用しにくい面がありました。今回、わが国独自の診療手引きを英文化できたことで、英文論文執筆の際にも引用しやすくなったものと思います。同時に、本学会の活動のより一層のグローバル化の礎になるものと期待しています。

日本小児泌尿器科学会 理事長  
金子一成